

研修センター便り

No.8 後志教育研修センター

平成27年 2月 4日 発行

TEL 0136-22-1337

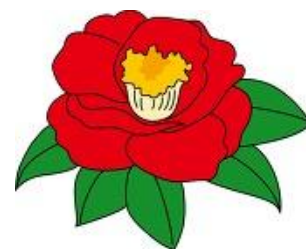
FAX 0136-22-2681

見事な私淑の系譜に～次年度の研修講座講師を決めさせていただきました～

所長 平 正 博

昨年末より、校長先生をはじめ、各教育研究団体会長様などへ次年度の講座講師の推薦をお願いしてまいりました。年も改まった1月中旬より、校長先生を通し講師派遣のお願いを始めました。

ちょうど学校も始まり極めてご多用のところ、私どもの依頼に対し、真摯に耳を傾け内容を理解してくださいました。電話の向こうからは、所属職員各位が一層飛躍して欲しいという校長先生の熱き情熱が伝わってまいりました。お骨折りいただきました結果、「校内研修」と「学校と社会をつなぐ社会教育」を除く27講座すべての講師をこの度決定させていただきました。講師を引き受けてくださいました55名の先生はもとより、お話を勧めていただきました校長先生、そして、力量は十分に持ち合わせながらも校内事情等で講師になっていただけなかった先生など、すべての皆様のお陰で講師の決定に至った訳でございます。深く感謝申し上げます。



加えて、講座についてのねらいや内容の組み替えなどについて校長先生と綿密に話し合わせ、受諾すべきか否かを悩み葛藤された先生もたくさんおられました。まるでご自分の本務のように講座のことを考えてくださったこと、誠にありがたく感じる次第です。同時に、何日も悩ませたことを大変申し訳なく思っております。一方、他校の先生をご推薦されました校長先生、教頭先生、教育関係者もたくさんいらっしゃいました。「この先生とは一緒に勤務したことはないけれども、かつて同じ町にいたことがあり、現在〇〇学校に勤務する〇〇先生は極めて〇〇に優れているよ。若い先生だが、私は陰に陽にその先生を応援し尊敬もしているよ。」というようなお話を伺う機会が度々ありました。

教育界においても世代交代の進む中、このように直接の関わりはないけれども、密かにその先生を模範として推薦者ご自身も学んでおられるとの情報はとても貴重であり温かかったです。そして、今回講師を受諾されました先生も、やがては同じ行動をしてくれるかと思いました。

見事な私淑の系譜がこの教育界にも存在しておりました。それら信頼感あられる「つながり」に触れることのできた「春寒」の候でありました。